

# かさかけ 公民館だより

編集  
笠懸公民館編集協力員会  
みどり市笠懸公民館  
発行  
みどり市笠懸公民館  
〒379-2311  
みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話：0277-76-2211  
FAX：0277-76-2836  
Eメール：kouminkan  
@city.midori.gunma.jp

## 渋沢栄一の人となりを学ぶ 高齢者大学第5講

令和3年度みどり市笠懸地域高齢者大学第5講がグンエイホールパル（笠懸野文化ホール）で、10月19日（水）開催されました。

演題は、渋沢栄一の偉業と人物像「人生の転機となつた11年間」を中心に学びました。講師は渋沢栄一記念館の資料解説員の菅原政昭さんで約1時間半にわたつての講義でした。

初めに、「渋沢栄一はどんな人ですか」と問いかかけ、「2024年発行の1万円札の肖像画です」と言い、近代日本の資本主義の父と称されています。栄一



▲講師の菅原氏（渋沢栄一記念館）

### 高年齢者大学第5講

が関わつた会社や団体は約500社に及ぶといい、東京商工会議所が140周年を迎えた昨年に調査したところ、上場企業は186社が現存しています。

栄一にとつて人生の転機は24歳からの11年間にあるようで、24歳の時、高崎城乗つ取り計画の断念、そして25歳の時、平岡四郎の計らいで一橋慶喜の家臣となり、財政管理を任せられ

たといいます。28歳の時、

將軍の弟「昭武公」の子守役としてパリ万博やヨーロッパを見聞したことが、栄一にとつて大きな収穫でした。パリには33人が渡りましたが、栄一だけが突出してその名を残したのは、問題意識をもつてことに当たつたからだといえます。

ホテルでは蛇口をひねれば水が出る。夜間に外では街灯が点いている。軍人と商人とが対等の立場等々。見たこと聞いたことを記録として書き留めておいたようです。そしてヨーロッパ

で学んだことは①お金を回すこと（経済）②インフラ整備（鉄道網）③人材の育成（学校）の3点を主として取り組んだようです。

栄一の最後の仕事は、病床の中、東北地方の飢餓で苦しんでいる人たちの要請を受けて陳情し、救済法が制定されたことです。これが現在の民生委員制度に繋がっています。そして、92歳で亡くなりましたが、栄一の思想の根底には論語があつたといえます。渋沢栄一の人となりや業績をわかりやすく講義していました。

### 利用者懇談会と大掃除を中止！

#### 利用者の会 理事会

みどり市笠懸公民館利用者の会（上山会長）第4回理事会が10月27日（水）に笠懸公民館視聴覚室において開かれました。協議事項として①利用者懇談会について②公民館大掃除について協議が行われました。協議の結果、今回は笠懸公民館が来月1月以降第3回目のワ

クチン接種会場になる可能性があることや笠懸公民館内の改修工事などで10日ほど休館を予定していることなどを考慮して中止することになりました。また、以前に「コロナ禍での公民館活動についてのアンケート」を実施しましたが、その集計と総括をなるべく早

い時期に取りまとめ、利用者の会としての対応を検討し、館報などで公表することになりました。

今年度も様々な事業が中止となり、サークル活動もままならない状況が続きました。今後の活動のあり方についても考えていく必要があることを課題とし、みんなでもより良い方向へ行けるよう公民館に提案して頂けたらと思います。

# 今年度の文化祭は“中止”

## 笠懸地域文化祭実行委員会

笠懸地域文化祭実行委員会代表者会議が10月15日(金)に開催されました。

文化祭については、7月の実行委員会後に緊急事態宣言が発令され会議を開くことができず、開催方法が決まっていませんでした。書面で代表者会議を開催し、10月の開催については見送ることを決定しましたが、今後の対応は今回の代表者会議で検討することになっていました。今回一番の協議事項は文化祭実施についてでした。



▲各部会代表者からの意見に耳を傾ける

開催にあたって公民館側からの説明がありました。

開催候補日程は2月5日から6日、または3月19日から20日。参加団体の状況は、申し込みが76団体でしたが、16団体が参加を辞退することになり、更に辞退を希望している団体があるのとことです。また、年明けに公民館とパルが電気工事のため休館になること。開催には群馬県の新型コロナウイルスが警戒度「2」以下であること。3回目のワクチン接種会場になった場合、3月頃までロビーと交流ホールが使用できなくなる可能性があること。などが話されました。その後、各部会代表からの意見を聞き、今年度の文化祭は、開催が難しいとの判断が出ました。来年度の文化祭は、例年通り10月の第3土日の開催で検討することになりました。企画広報部会は2月からスタートします。

## 公民館の本質と利用者のあり方(前編)

### みどり市笠懸公民館利用者の会 Vol.8

コロナ禍が落ち着いてきたとはいえ、以前のように何の気兼ねもなく自由に公民館活動ができない利用者の方々に、公民館のことを考えていただくようお願いしたい。少し堅苦しい話になるかもしれませんが、一緒に考えていただきたいと思います。

さて、全国公民館連合会は公民館の役割として3つの指標をあげています。

①集会和活用(つどい)  
②学習と創造(まなぶ)  
③総合と調整(むすぶ)

これらは、公民館が果たす役割として、時代の流れがどんなに変わっても、変えてはいけない重要な機能(はたらき)と言えます。

①の「つどい」とは、多様な世代の住民が、気軽に公民館に集まり、様々な交流をし、活動すること。

②の「まなぶ」とは、地域住民にとって、生きがいや地域課題・生活課題の解決に向けて、皆で考える『まなびの場』であること。

③の「むすぶ」とは、「他の教育機関や行政機関等との連携」と「仲間づくり」という2つの意味が含まれていること。

今、私たちが生きている社会は、個人にとっても集団にとっても、多様な複雑な課題にあふれたとても住みにくい世の中です。公民館も単独で多様な複雑な課題の解決に取り組むには限界があります。ですから地域の課題に応じて関係施設や機関と連携しながら事業を実施していく必要があります。

「公民館の設置及び運営に関する基準」の中でも、「公民館は、事業を実施するにあたっては、関係機関及び関係団体との緊密な連絡、協力等の方法により、学校、家庭及び地域社会との連携の推進に努めるものとする。」と定められています。このように公民館には、地域における社会教育の総合的な中核施設としての役割が求められているのです。

もう一つは、人と人を「むすぶ」という意味です。公民館には、日常的に地域の多様な世代の住民が集まってきました。そうした人々に対して趣味や地域課題について共に学び、交流する機会を提供することにより「仲間づくり」を進めることが公民館に求められているのです。

(次号につづく)

# 寒くても元氣いっぱい!

## お母さんと一緒教室



▲玉入れ 何個入ったかな?

急に肌寒くなった10月22日(金)曇り空の下、第6回お母さんと一緒教室は運動会を行いました。

冬支度で集まった8組の親子は芝生広場で輪になり、アンパンマン体操で体をほぐしました。プログラムは、かけっこやお菓子取り競争、でかぱん競争、玉入れ、綱引きなどです。初めての運動会でゴールに向かって一

生懸命走る子、お母さんに抱っこされる子、嫌がって泣く子、正反対の方向に走り出す子と様々で、笑いや、歓声が続いていました。綱引きは子ども用の軽いロープで乗っかかりたり巻き付いたり大はしやぎでした。笠懸幼稚園から借りた綱での綱引きは親子で引っ張り合いお母さんの底力を発揮。頑張った子どもたちは、ご褒美に根岸先生からメダルを首にかけてもらい喜んでいました。

その後、交流ホールに移

# 脱穀体験

## 岩宿の里米っこクラブ

10月16日(出)「岩宿の里米っこクラブ」は前回刈り取って天日干しをした古代米の脱穀を行いました。あいにくの雨のため、田んぼで行う予定を変更して、ふれあい学習館内で作業をしました。現在は脱穀と言えば機械で行うのがあたりまえですが、米っこクラブではすべて人力。昔使われ

ていた足踏み回転脱穀機や千歯扱き(せんばこき)を使って脱穀し、唐箕(とうみ)と言う、風を使って藁くずやごみを飛ばす道具で実籾の選別をしました。参加者は子どもたちが体験する昔ながらの脱穀の様子を写真に撮ったり、一緒に稲を引っ張ったりして脱穀を楽しくていました。あとは

精米すれば出来上がりです。次回はサトイモの収穫、それから稲藁を使ったのしめ縄作りとまだまだお楽しみは続くようです。



▲足踏み回転脱穀機を使った脱穀体験

動してハロウィン行事も行ってました。妖しい音楽が流れ始め魔女が登場。初めて見る魔女にびっくりしながら、神妙な顔で子どもたちはお菓子を受け取っていました。



▲魔女さんからお菓子もらえたね

# 市民講座開催に向けて

## 市民講座運営委員会

10月14日(木)令和3年度市民講座運営委員会が開かれました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で開催されなかった市民講座ですが、今年度こそ開催という思いで、委員さんは気合いを入れて頑張っています。今回の会議では、第1回から第3回までの講座について、当日の流れや担当者を決めました。市民講座へ少しでも興味を持った方、きつと何か得るものがあると思います。ぜひとも足を運んでみてください。

### 令和3年度みどり市市民講座 「知識を身に付け、知恵を育む」

参加者募集中

- ◆第1講「生命を育む星は見つかるか」※11月18日(木)終了
- ◆第2講「起こること全てに意味がある～夢と希望～」  
12月19日(日) 14時～15時30分 グンエイホールPAL
- ◆第3講「詐欺に遭わない方法」  
2月24日(木) 19時～20時 笠懸公民館

※詳細はかさかけ公民館だより169号またはチラシをご覧ください。

# 小中学校運動会・体育大会

## がんばれ

### 笠懸中学校体育大会

10月5日(火)は笠懸中学校の体育大会でした。当初は保護者の応援は、なしでしたが、保護者からの要望もあり、1家庭2人までの参観が予防策を実施した上で可能となりました。当日の保護者は自分の子どもの競技時間に合わせて来校。密にもならず、ゆったりと参観していました。

競技で圧巻だったのはクラス全員で跳ぶ「長縄跳び」です。縄を大きく回し続ける2人も本当に大変そうですし、中で跳ぶ生徒たちの1人1人が気持ちを一つにしなければならぬという緊張感でいっぱいです。まさにチームプレー。特に3年生ともなると100回以上跳ぶなど、クラス一丸となって頑張っている姿は本当にスゴイ！とても圧倒されました。

### 笠懸小学校運動会

秋晴れの10月21日(木)に笠懸小学校の運動会が短縮で開催されました。

今回平日の開催にしたのはコロナ禍や雨天対策を考えて決めたそうです。また、コロナ対策として来場者は各家庭2人までにして、入場受付の所で検温カードと引き替えに学年別色リボンを渡し、左胸へ付けます。自分の子どもの出番の時だけ前の方へ行ける工夫をしていました。

大会スローガンが大きく張り出され「今こそ一致団結 僕らの心はノーディス・ダンス」これは5年3組の齋藤聖生さんが考えたものです。

プログラムは3・4年生の100m走からスタートし、団体競技、リレーの3種目。続いて1・2年生の60m走、団体競技の2

種目。最後に5・6年生の120m走・団体競技・リレーの3種目で終了となりました。徒競走は5・6年生になるとグリーンと身体も大きくなり、走る速度も随分速く迫力満点でした。6年生の見どころでもある組み立て体操・鼓笛隊を早く見られる日がくると良いですね。



▲力いっぱい走る笠小児童たち

### 笠懸北小学校運動会

9月から延期されていた笠懸北小学校の運動会が天候が不安定の中、10月22日(金)に行われました。来場する保護者には密を避けるため、自分の子どもの学年ごとに受付をして入場すると

いうコロナ対策を取った方式。きょうだいがいて学年をまたぐ場合でも、一度退場した後に再度受付するという徹底した体制でした。運動会のプログラムは学年ブロックに分けられ、3・4年生、1・2年生、5・6年生の順でそれぞれ徒競走や遊競技が行われました。前半ブロックは順調に競技が進められたものの、後半の高学年ブロックの競技

### コラム 豆電球



#### 堀の外のいとせなせ婆婆 (シャバ) カンニング

映画やドラマなどで受刑者が「シャバに出たい」というシーンがあるが、なぜシャバというのだろうか。娑婆という言葉の語源は、サンスクリット語の「サーハ」だ。サーハには人間界、この世という意味がある。このサーハという言葉が中国に伝わったときに、その読みから中国人によつて娑婆という漢字に当てられた単なる当て字、お婆さんとは何ら関係もないわけだ。ところで、サーハを意識す

中には雨による中断もありました。5・6年生は雨が止んだ隙に競技を進行しなければならぬ中、気持ちを切らさずに最後まで無事に終えることができました。特に6年生にとつて形は違つても小学校最後の運動会です。不安定な天気の中でも同級生や先生方と最後まで頑張ることができたことは良い思い出になったのではないのでしょうか。

ると「忍土」になる。仏教の世界では、私たちが生きているこの世は苦しみの土地であり、私たちはその苦しみ耐えながら生きていかななくてはならない。さらに、耐えているだけではない。私たちは他人に迷惑をかけるなければ生きていけない。我々にとつてこの世は耐え忍ぶ土地、つまり忍土というわけだ。なんとも厳しいお言葉だ。シャバというのは天国のような何者にもしづらげず、楽に暮らせる世界のようなものかと思つていたが、厳しい気持ちをもつて生きて行かなければ、この世は渡れないのかもしれない。

# リニューアルされ2年ぶり開催

## 第42回草木湖マラソン

コロナ禍で2年振りとなった第42回草木湖マラソン大会。コースもリニューアルされ、10月31日(日)に開催されました。

参加者は人数を制限し、 HALFマラソン49人、12km 82人の合計131人でスタートしました。 コースは今年からリニュー

ールされ国道122号を使用せず、県道343号のくねくね山道を使用しました。選手もスタッフも初めてで、どうなるかわかりませんでした。選手もスタッフも初めてでしたが、スムーズに競技が行われていました。12kmコースは国民宿舎サンレイク草木のところで折り返しとなり、 HALFマラ

ソンはログキャビン奥渡良瀬(キャンプ場)が折り返しとなりました。

【各種目の優勝者】  
◇ HALFマラソン男子 須田修之(明和町)  
◇ HALFマラソン女子

ソンはログキャビン奥渡良瀬(キャンプ場)が折り返しとなりました。

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

た人は、軽やかな走りを見せ、ぶつちぎりの速さで6km地点を通過していきまし

# 第2回 IWAJUKUイルミネーション

## 青く染める点灯式

「ポランティア団体ハリカポリー」(柳田紀子代表)の主催する IWAJUKUイルミネーションの点灯式が10月31日(日)午後5時から行われました。

点灯式では、ハロウィンの仮装をした市民たちが集まる中、式に出席した須藤昭男市長は「このような活動は地域の人の励みになり必要なこと。みんなで協力して回数を重ねて行って欲

しい。行政としても支援をしていきたい」とあいさつをしました。

同イベントは、地元市民らがコロナ禍で奮闘する医療従事者への感謝を込め、また、自ら地域を盛り上げようと昨年度初めて企画したもので、今回が第2回の開催になります。会場は岡登用水阿左美緑道で行われ、飾り付けは当日集まった参加者の皆さんが50人程



▲点灯の合図で青く染まった緑道の水辺

で行い、寒空の中、約2時間で完成させました。

この点灯式を皮切りに来年2月20日頃までイルミネーションは点灯される予定です。

## 防災を考える ⑫

### 大雪への備え

冬場の防災として備えておきたいものに、大雪があります。市内でも6年前、平成26年2月に最深積雪が45cmになり、特にカーポートやビニールハウスに大きな被害がでました。大雪の予報が出るとホームセンターでは雪かき道具が品薄となり、ガソリンスタンドではタイヤの交換が大忙しで出遅れると間に合わない。大雪の予報が出る前に準備は済ませておき、降雪の警報が出たら、3日前には水・食料・薬等の確保、2

- 真下 己友紀(桐生市)
- ◇ 12 km男子高校生 39歳
- 田村 裕一(沼田市)
- ◇ 12 km男子40歳代
- 尾崎 勝海(高崎市)
- ◇ 12 km男子50歳代
- 嶋田 賢司(前橋市)
- ◇ 12 km男子60歳以上
- 砂崎 広明(前橋市)
- ◇ 12 km女子高校生 39歳

- 獅子内 珠羅(みどり市)
  - ◇ 12 km女子40歳代
  - 田中 淳子(高崎市)
  - ◇ 12 km女子50歳代
  - 田沼 美華(大泉町)
  - ◇ 12 km女子60歳以上
  - 中川 裕子(太田市)
- 来年はコロナ感染も落ち着き、募集範囲も広げ参加者が増える事を期待します。

日前にはガソリン・灯油などの燃料補給、前日は家の外回りやカーポートの補強をして、雪が降ったら不要不急の外出を避ける。結局降らなくても空振りを嘆くのではなく、今回は「素振り」だと考え、防災力を上げていきましょう。災害が起こると想定外という言葉が使われますが、想定外を作らないよう考え、行動することが大切です。いざという時のために日頃から備えておきましょう。





大橋政人さん

笠懸町第4区在住の大橋政人さん(78歳)。桐生市役所を早期退職し詩人として活動を始めました。「まどさんへの質問」で平成28年第12回三好達治賞受賞。詩集15冊、絵本9冊、エッセイ1冊を出版しています。



現在は、富弘美術館詩画展や上毛新聞のジュニア詩壇、群馬文学賞、群馬県高校生文学賞の審査員をしています。ジュニア誌壇は隔月ごとに約1000篇の詩を読み、選考、講評と割付をしていて「大変だけれど

子どもの詩は目線が面白い」と、その合間に会議がありと忙しい毎日を送っているそうです。

「元々現実離れした哲学的なことを考えるのが好きだった」と話し、「身の周りの不思議を取り上げ詩が生まれ、またそこから絵本につながることもある」と。「詩を書いたり本を読むことは人生が深くなる。仲間づくりも大切だけれど孤独を楽しむことも必要。いじめられても強くなれるから子どもたちへ伝えたい」と強調していました。来年は詩集と絵本の執筆を考えていると抱負を語ってくれました。



のこぎりやまのふしぎ  
大橋政人 文 / 伊藤秀男 絵  
福音館書店

▲赤城山がモデルの絵本

こえのひろば

投稿

列車にゆられて(45)

野利 哲

静岡県内を走る天竜浜名湖鉄道(天浜線)は、東海道線の掛川駅から浜名湖北側を走り東海道線の新所原駅を結ぶ67.7kmの路線です。旧国鉄の二俣線で、掛川駅を出た列車は西へとはてしなく広がる田園地帯をディーゼルの軽快音を立って走ります。

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

沿線には国登録有形文化財の駅舎が11駅あり存在感を示しています。沿線で一番の賑わいを見せていたのが天竜二俣駅でした。構内には転車台や車両基地、そして鉄道歴史館があり多くの観光客で賑わっていました。線路は浜名湖佐久米駅から尾奈駅までは浜名湖をへつるように走り終点の新所原駅へ向かいます。天竜二俣駅から二つ先に西鹿島駅があります。ここから浜松を結ぶ遠州鉄

道(通称赤電)が走っています。西鹿島〜新浜松間17.8kmを33分で結んでいます。電車は西鹿島駅から住宅地を抜け市内に入ると高架を走り新浜松駅となります。天浜線と違い車内は混んでいました。

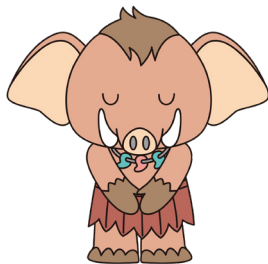
掛川には日本100名城の掛川城、浜松には続日本100名城の浜松城があり、城ファンにはたまりません。

天竜浜名湖鉄道 掛川駅〜新所原駅67.7km片道1470円、フリー切符1750円。遠州鉄道 西鹿島駅〜新浜松駅17.8km片道480円、フリー切符1000円。

笠懸公民館年末年始 休館のお知らせ

12月28日(火)から

1月4日(火)まで



みどモス



▲天竜浜名湖鉄道の遠州森駅 (国の登録有形文化財)

みどり市スケッチ vol.8  
花輪宿ウォーク

萩 芳岳

みどり市の健康管理課が  
監修した元気プロジェクト  
ト・ウォーキングマップを  
参考に「花輪駅周辺コース」  
を歩いてきました。わたら  
せ渓谷鐵道の花輪駅9時51  
分着の列車で降り、私にと  
つて花輪地区は未知なる地  
で、どんな光景が、そして  
どんな出会いに巡り合える  
のか楽しみでした。歩いて  
約5分、旧今泉家住宅（今  
泉嘉一郎生家）や御用銅蔵  
がありました。そして、昔  
の宿場町の面影を残す街道  
をテクテク歩き、善雄寺、  
諏訪神社、藤瀧不動尊と進  
みます。藤瀧不動尊は初め  
ででした。森閑とした神域  
に豊かな水がドウドウと音  
を響かせ流れ落ちていまし  
た。旧花輪小学校記念館の  
近くには東支所や公民館、  
市の指定文化財となってい  
る防空監視哨跡がありまし  
た。長閑ですねえ、真っ青  
の空に聞こえるのは風の囁  
きのみ。柿の木はたわわに  
実をつけ取り入れを待って

いるようでした。そして陽  
光を浴びている光景は里  
の秋そのものでした。銅街  
道の標識を目印に400m  
ほど進むと御霊神社があり  
稲荷神社は中野駅から歩い  
て約10分、稲荷神社の社殿  
彫刻は市の指定文化財にな  
っています。全コースのん  
びり歩いて2時間弱、山里  
の風景と自然を満喫したウ  
ォークでした。（文化財に  
ついては市の文化財課に問  
い合わせてください。）

ダンスライブ参加団体募集！

開催日時 令和4年3月20日（日）午後1時～（予定）  
会場 グンエイホール パル  
参加資格 主にみどり市で活動しているダンスチーム。  
実行委員会に実行委員を選出し、ダンスライブ  
の運営に協力できること。  
※実行委員会の会議を3回程度開催予定です。  
申込先 笠懸公民館（窓口：9時～17時。月曜休館）  
申込方法 窓口またはメール。  
申込書またはメール本文に下記の必要事項を記  
入ください。

【必要事項】

- ①チーム名 ②実行委員（氏名・住所・電話番号・メールアドレス）③出演人数

申し込みきり 12月26日（日） 午後5時

主催・問い合わせ先

笠懸公民館

電話 76-2211

メールアドレス：kouminkan@city.midori.gunma.jp



公民館喫茶コーナー  
ぺちやくちゃ

再開  
しました

◇営業日・時間

火～土曜日 午前10時30分～午後3時

◇定休日 日・月曜日

【問合せ先】みどり市社会福祉協議会 76-4111

四季の会 九月句会

母と吾れ孫らにもらふ敬老日  
満月や暫し見とるる赤信号  
秋の虹患者に知らず夕餉かな  
銀輪をこいで追ひかく満月よ  
秋茄子のうまき味付け夕厨  
秋の蛇猫に追われて死んだふり  
邪魔をせし疲れの夜の虫時雨  
旅籠屋の客もうつり今日の月  
名月を猫とながむるベツトかな  
工芸展ことしも中止と秋の声  
名月や忠治が歌ふ赤城山  
野分あと塾がえりの子等騒がしく  
秋茜おおやの庭で集会す  
鶴鶴やおだて上手な営業マン  
十六夜の窓辺に写る母のかを  
ジャズを聞く熱めの紅茶霧の朝  
廃線の鉄路に群るる泡立草  
月見茶屋琴の音ほそく聞こへくる  
しなやかに名月さし込む埒かな  
芋茎買ふ朝いちばんの道の駅  
満月の出前をしたき母の墓  
そのことに決して触れず男郎花  
円窓に名月しかとはまりをり  
掃き寄する萩の花くず草庵  
名月や鴨居にかけける旅衣  
穴惑ひ先祖の墓でひと休み  
秋なすのカレーを作る夕厨  
いわし焼く猫の分まで用意せし  
初さんま長寿な犬と夕餉かな  
菩提寺の羅漢が笑むやへつぱり虫  
藤ばかま花芽食はるる庭の隅  
ブルースを君と踊るや月の夜  
緋連雀ほやの実好む山の宿

- 佐藤由美香 高野春蝶 窪田友美 金井英磨 高野光詢 糸井佳酔 家住紫香 窪田劍邦 前原紫蘭 中谷邦女 童鳥海 小此木和音 糸井梅光 韓百日紅 新羅光海 石原青蓮 冠二郎 横倉二雅 徳田夕子 糸井初音 川岸星漢 小林狐一 吉田和義 小林華笑 金井光順 楮沢春蘭 村田紅蘭 東宮春水 佐藤小春 須田小春 村田仙寿 宇野小町 金野光月



# 笠懸短歌サークル

十月例会より

雨粒と思へる程に降り落ちる木の実に山の辺秋のあふるる  
勤め辞め拘束とかれ吾のころ自由きままにのびのびおどる  
父の土産眼衰しきアイヌ熊飾られぬまま遊び道具に  
綿飴のごとくに日々の雲の色知らず知らず老いてゆくなり  
明日は雨の予報をあてに菜を植うる日和つづきの乾きし畑に  
鳴くことが全ての如きこほろぎを聞きつつ寝ねむコロナ禍のなか

上村 征子  
上山 利夫  
久保田茂子  
近藤ふさ子  
関口 定夫  
平山 勇



## 上毛かるた㊤

御朱印レディー

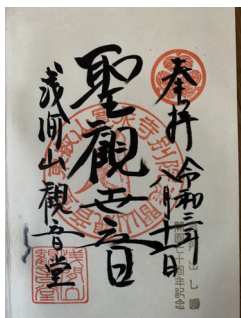


▲浅間山観音堂

「浅間のいたずら鬼の押し出し」の鬼押し出し園は上信越高原国立公園で、嬬恋村に位置します。  
この園は、1783年の浅間山大噴火によって流された溶岩が冷えて固まって

形成されたところ。その中に真つ赤なお寺「浅間山観音堂」（東京の上野にある寛永寺の別院）があり、噴火の犠牲者の冥福を祈って建てられたそうです。  
このお寺は見晴らしの良い場所に建てられ一面に広がる大パノラマは最高の風景です。自然のエネルギーのすごさを肌で感じられます。

御朱印は、その場で書いて頂きます。



▲浅間山観音堂の御朱印

## テクテクお城歩き(22)

三春城 歩遊人

日本三大桜のひとつ滝桜のある福島県三春町に続日本100名城の三春城があります。資料によれば、中世から近世にかけて田村地方を治めた大名の居城といえます。

1504年、戦国大名の田村義顕が築いたと伝えられています。それ以前の14世紀頃からの遺跡が発見されているようです。  
1590年、豊臣秀吉の奥羽仕置により田村氏は改易となり、一旦、伊達領となり、翌年、会津の蒲生氏郷の領地に組み入れられ会

津若松城の支城になったようです。

江戸時代に入り1645年、秋田俊季が5万5000石で三春城主となり明治維新まで秋田氏11代の居城となりましたが、1785年の大火で城はほぼ全焼したといえます。

三春城の天守には車で二ノ丸駐車場まで行けますが、三春町歴史民俗資料館に駐車し歩いて登城することをお奨めします。お城坂を上り愛姫生誕の碑を見て、「野面積み」の石垣に沿って進めば天守となります。本丸の一角には4等三角点（点名「城山」標高407m）があります。本丸から見る雪を抱いた吾妻連峰は素敵でした。



▲山の頂上付近に見えるのが三春城

## ちよつと一息



庭のミカンの葉が黒い小さな虫に食べられていた。それがアゲハ蝶の幼虫とは知らなかった。そのうち蚕みたいな姿で緑色になっていった。友達に話をしたらアゲハ蝶の幼虫を飼っている知り合いがいるというのであげた。ふとミカンの葉を見たら、またもや黒い幼虫が。うちでケースに入れて飼ってみることにした。成長を観察、早い動きになり、さなぎになる場所を探していた。数日後、朝起きたらアゲハ蝶になっていた。

「すごい、きれい〜!!!」外に出てミカンの木に戻した。数回羽ばたきをして飛び立った。嫁に出す気分。私の上の方で一回りして空に飛んでいった。まるで「行ってくるね〜」と言っているように。その後も飼育して数匹、大空に旅立たせた。産卵しているアゲハ蝶を見るとこれはあの時の…。何気ない毎日に感動をありがとう。

(美)